

平成26年1月28日

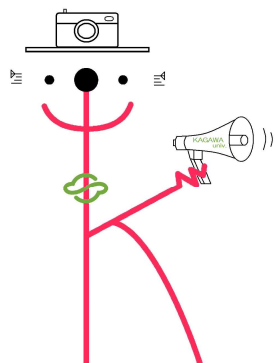
今から備える、男性も女性も、みんなのための介護講座開催

我が国の高齢者の割合は現在10人に1人。2030年には5人に1人になると推計されます。働き盛りの40代～50代のリーダー世代の介護負担増は、職場にも大きな影響を与えます。「老老介護」、「息子介護」、「シングル介護」、「遠距離介護」、「週末介護」、「夫婦介護」、男性も女性も、それぞれの立場の中で、仕事と介護の両立を健やかにどう図り、それにどう備えるか？

今回は大学の男女共同参画の課題として介護問題を考えます。男性介護の問題を専門とする立命館大学 津止正敏先生のご講演と、困難の多い認知障害を持つ高齢者へのケア本を執筆した清水裕子先生との質疑を交えた対談を通して、情報を共有し、理解を深めましょう。

1. 講座名 **今から備える、男性も女性も、みんなのための介護講座**
「オトコの介護を生きるあなたへ～おひとり様でもおふたり様でも～」
2. 日時 平成26年2月3日(月)15:00～17:00
3. 講師 立命館大学 産業社会学部現代社会学科教授 津止正敏氏
4. 会場 香川大学 幸町キャンパス 研究交流棟5階 研究者交流スペース
5. 対象 教職員・学生・一般の方
6. 参加 無料、事前申し込み不要
7. 主催 香川大学 男女共同参画推進室

※ご来学の際は、公共交通機関をご利用ください。



➤ 問い合わせ先
△ 香川大学 男女共同参画推進室 △
コーディネーター 長安めぐみ(担当事務 川田靖子)
TEL:087-832-1055 FAX:087-832-1057
E-mail:sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp
HP <http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>



我が国の高齢者の割合は現在10人に1人。2030年には5人に1人になると推計されます。働き盛りの40代～50代のリーダー世代の介護負担増は、職場にも大きな影響を与えます。「老老介護」、「息子介護」、「シングル介護」、「遠距離介護」、「週末介護」、「夫婦介護」、男性も女性も、それぞれの立場の中で、仕事と介護の両立を健やかにどう図り、それにどう備えるか？ 今回は大学の男女共同参画の課題として介護問題を考えます。男性介護の問題を専門とする津止正敏先生のご講演と、困難の多い認知障害を持つ高齢者へのケア本を執筆した清水裕子先生との質疑を交えた対談を通して、情報を共有し、深めましょう。



参加無料

今から備える、男性も女性も、みんなのための介護講座

講演「オトコの介護を生きるあなたへ～おひとり様でもおふたり様でも～」

日時：平成26年2月3日(月) 15:00-17:00

場所：香川大学研究交流棟5階 研究者交流スペース

対象：香川大学教職員・学生・近隣の企業・市民の方

講師：立命館大学産業社会学部

現代社会学科社会学研究科 津止正敏 教授



【当日の流れ】

司会 教育学部 岡 晋平 室員

15:00～開会の挨拶 石井明 副室長

15:10～講演「オトコの介護を生きるあなたへ～おひとり様でもおふたり様でも～」

16:10～対談「色々な立場を包括する介護支援のあり方」 津止正敏 教授

香川大学医学部看護学科 学科長 清水裕子 室員

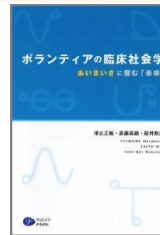
16:50～講評 山神真一 教育学部長

著書
ご紹介

『ケアメンを生きる』
津止正敏 著
クリエイトかもがわ
(2013)



『ボランティアの
臨床社会学』
津止正敏 著
クリエイトかもがわ
(2009)



『コミュニケーション
からはじまる認知症
ケアブック 第2版』
清水裕子 著
学研マーケティング
(2013)



【お申込み】 男女共同参画推進室

電話 087 (832) 1055 FAX 087 (832) 1057

電子メール sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp 内線1055

主催：香川大学男女共同参画推進室

協力：教育学部・医学部・工学部・経済学部